



安田登 [謡]



榎宅聡 [笛]



竹本越孝 [浄瑠璃]



鶴澤寛也 [三味線]



玉川奈々福 [浪曲]

出演者による
座談会あり



沢村豊子 [曲師]

日本に息づく、世界に類を見ないほど多種多様な「語り芸」。
なかでも特に個性的な三つの「音楽つき語り芸」能・女義太夫・浪曲をたつぷり味わい、
それぞれの芸の核心を語り合う座談会を通して、
日本人のからだと言、日本の音とリズムに迫ります。

舞う・語る・唸る
日本の「音楽つき語り芸」

のうた、じよぎ、るるう!

全席指定：¥3,000 **好評販売中**

※トリフォニークラブ会員・墨田区在住在勤¥1,500

※墨田区の小中高生¥1,000

■お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

2016

1.30 (土) 14:00開演 (13:30開場)

すみだトリフォニーホール

小ホール | 252席 |

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/東京スカイツリータウン®より徒歩20分

のう、じよぎ、ろう!

◆能／「隅田川」語り

都から隅田川まで狂女となってやってきた女性。対岸からは大念仏の声が。「あれは何か」と問えば、「去年のちょうど今日、人買いに連れられ、この地で亡くなった少年を弔う念仏だ」と、船頭はそのときの模様を語ります。その子こそ、この女性の子。彼女は我が子を追って、この隅田川までやって来たのでした。母は「我が子の姿をひと目でも」と土を掘り返そうとしますが、船頭らに止められとも念仏を唱えようと墓の中から少年の霊が現われ……。

ほか「夢十夜(第三夜)」・「吾輩は猫である」餅の段

◆女義太夫／『碁太平記白石噺』

新吉原揚屋の段

大黒屋の傾城宮城野は、惣六が連れてきた娘おのぶが故郷に残した妹だと気づき、二人きりになったところで母親が持たせた証拠を互いに見せ合い、再会を喜びます。しかし、おのぶの口から父母の死を聞き、妹とともに父の仇討ちを決意し、廓を抜けたそうとするのでした。それを立ち聞いた惣六が、曾我兄弟の仇討ち物語を引き合いに出して二人を諷め、その時が来るまで待てと諭すのでした。

◆浪曲／「悲願千人斬りの女」

幕末から明治にかけて、千人斬の男遍歴をやったけた女性が実在しました。松の門三艸子。明治初期の有名歌人。お相手は、徳川政権下の大名諸侯から明治新政府の役人まで、大物ばかり、かと思いきや。江戸八丁堀の与力、深川の幫間、俳諧の宗匠……彼女は貴賤貧富の隔てなく四民平等に撫で斬って、ついに千人斬を達成したのであるらしい。深川を舞台に、幕末明治の動乱期を、明るく堂々と生き抜いた一人の女性の心意気を描きます。



安田登 [やすだ のぼる]

能楽師、公認ロルファー(米国のボディワーク、ロルフィングの専門家)。1956年千葉県銚子市生まれ。主な著書に『身体能力を高める「和の所作」』・『異界を旅する能』(以上、ちくま文庫)、『日本人の身体』(ちくま新書)、『疲れない体をつくる「和」の身体作法』『能に学ぶ「和」の呼吸法』(以上、祥伝社)、『身体感覚で『論語』を読みなおす。』(春秋社)『あわいの力「心の時代」の次を生きる』(ミシマ社)など。

槻宅聡 [つきたくさとし]

能楽森田流笛方。重要無形文化財総合指定。1961年、島根県安来市荒島町生まれ。島根県立松江南高等学校卒業。1993年、国立能楽堂第二期研修終了。故・寺井啓之、中谷明(ともに重要無形文化財総合指定)に師事。1996年「翁」初演。2002年「道成寺」初演。



竹本越孝 [たけもと こしこう]

女流義太夫 太夫。昭和48年、竹本越道に入門。昭和49年、上野本牧亭にて初舞台。昭和58年、豊竹呂大夫に師事。平成7年、清栄会奨励賞受賞。平成12年、重要無形文化財義太夫節総合指定保持者認定。平成19年、フランスにて女流義太夫初の素浄瑠璃公演。以後、フランス、アメリカ、キューバ、カナダなど海外活動多数。

鶴澤寛也 [つるざわ かんや]

女流義太夫 三味線。昭和59年、鶴澤寛八に入門。平成5年、豊澤雅代の預かり弟子。平成14年、清栄会奨励賞受賞。平成15年、人形浄瑠璃協会女子部門賞受賞。平成17年、伝統文化ポラ賞奨励賞受賞。平成19年、鶴澤清介の預かり弟子。平成21年重要無形文化財義太夫節総合指定保持者認定。



玉川奈々福 [たまがわ ななふく]

浪曲師・曲師。1995年、二代目玉川福太郎に曲師として入門。2001年より浪曲師としても活動。2004年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回プロデュース。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。

沢村豊子 [さわむら とよこ]

曲師(浪曲三味線奏者)。福岡県生まれ。12歳から山本艶子師の指導で浪曲三味線の修行にはいる。昭和29年より、放送浪曲で大活躍していた国友忠の相三味線となる。三波春夫、二葉百合子、村田英雄といった看板の三味線も務め、現在はおもに、国本武春、玉川奈々福の三味線を務める。音色の美しさには定評がある。



全席指定：¥3,000 好評販売中

※トリフォニークラブ会員・墨田区在住勤務¥1,500(チケットセンターのみ取扱い)
※墨田区の小中高生¥1,000

■ チケット取扱い

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 278-228]

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

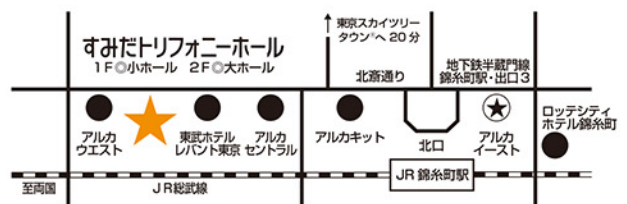


すみだ北斎美術館
平成28年11月開館予定

すみだ北斎美術館 外観イメージ

主催：すみだトリフォニーホール
企画制作：プロジェクト福太郎
協力：一般社団法人義太夫協会

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。



すみだトリフォニーホール | 小ホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分／東京スカイツリータウン®より徒歩20分

[@TriphonyHall](https://www.facebook.com/TriphonyHall) [facebook.com/SumidaTriphonyHall](https://www.facebook.com/SumidaTriphonyHall)